

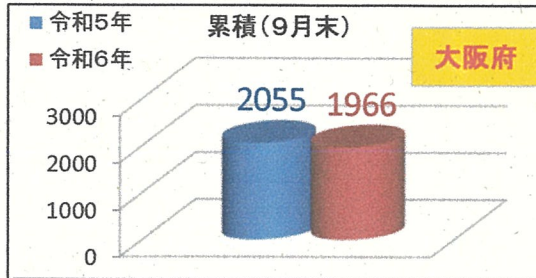


# 令和6年(9月末) 生野区内の犯罪発生状況

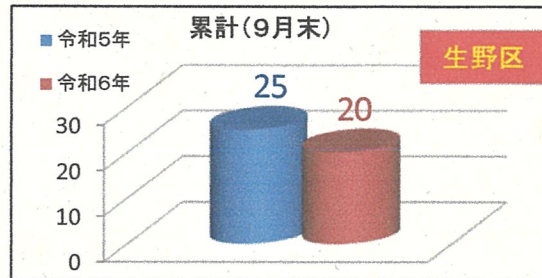


※認知件数は暫定値

## 特殊詐欺 認知件数

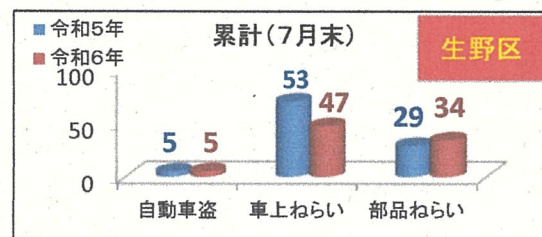
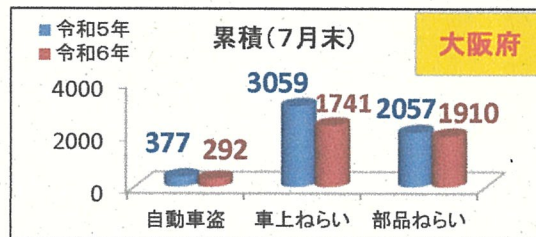


被害金額  
令和6年 43億4644万4320円  
令和5年 27億2094万5910円



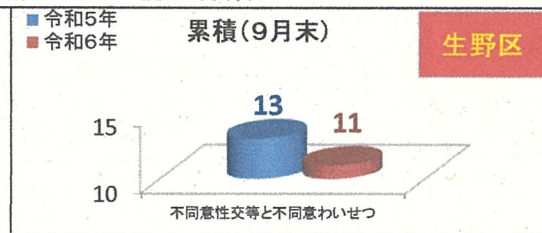
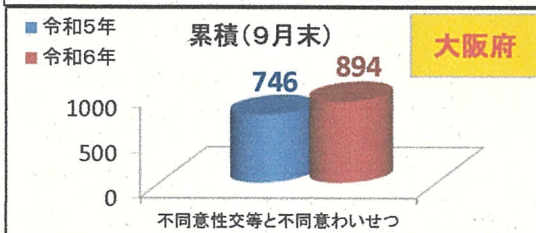
被害金額  
令和6年 2942万9000円  
令和5年 2172万8000円

## 自動車関連犯罪 認知件数



## 性犯罪

### 不同意性交等と不同意いせつ 認知件数



### 上記大阪重点犯罪の傾向

特殊詐欺の認知件数は大阪府下・生野区共に減少しているが、被害金額はいずれも増加している。手口別では還付金が全体の47.8%を占めており、オレオレ詐欺の被害額が前年の4.1倍となっている。

生野区の発生は、【手交型】(被害者と面接しキャッシュカード等を直接騙し取る手口)が半数を占めている。

残り3割が【還付金型】(医療費還付等の名目で被害者を無人ATMなどに誘導し、被害金を振り込ませる手口)、2割が【架空請求型】(ウイルス感染したパソコンの修理費用名目等で金銭を騙し取る手口)である。

自動車関連犯罪(自動車盗、車上ねらい、部品ねらい)は、大阪府下では全て減少している。

生野区は、自動車盗の増減はなく、車上ねらいは23件減少、部品ねらいは5件増加している。

生野区は、車上ねらいは、6割が自転車の前カゴ内、残り4割が自動車の車内被害である。

生野区は、部品ねらいの3割が自動車及び自動二輪車のナンバープレートの被害、残り7割は電動自転車のバッテリー、自転車のサドル及びその他車両の部品被害となっている。